



大謝名区十五夜・豊年祭

大謝名の獅子舞 〈市指定無形民俗文化財〉



旧暦8月15日の9月15日(木)、
宜野湾市の大謝名区自治会で豊年
祭が行われました。

豊年祭は古典音楽演奏で幕を開
け、伝統の獅子舞保存会の青年ら
が区に伝わる棒と、厄除けの獅子
舞を披露しました。三線と太鼓に
合わせて勇壮に踊る獅子舞に大勢
の区民を魅了しました。

豊年祭では、老人クラブや婦人
会による踊りも披露され、青年会
のエイサーが続いて、最後はカ
チャーシーで盛り上がりました。

◇大謝名の獅子舞

大謝名の獅子舞は、2000年ほ
ど前に始まり、同区の安全祈願と
厄払いの意味があると伝えられて
います。獅子舞をすることを「シー
シ・ケーラスン」ともいいます。

◇拌み

豊年祭の約2時間前に保存会の
有志メンバーが集まり、区内の拌
所を回ります。線香・酒・供え物
を持ち、これから獅子舞をするこ
との報告と健康祈願を行います。

公民館で獅子を拌み、土帝君、地
頭火の神、メヌカー、クガニナー
(黄金宮)、マテーシ(又吉)、ク
シヌカーを順番に回ります。

◇ムラマリー

拌所を回り終えると、次は獅子
を持って公民館から出発し、太鼓
と銅鑼(どら)を鳴らしながら区
内の決まったコースを歩きます。
途中、2、3カ所で獅子を被って
四方へ魔除けの動作をします。